

「技術」「仕事」「現実」を本気で学び、実践——。 夢を持つ人々の可能性の翼を育てたい

株式会社 NEST

京都府京都市上京区武者小路町 451-2

URL : <http://www.kyotonest.jp>

教育・映像制作・飲食の三本柱で事業を展開している『NEST』。音楽を中心に多様な表現や創作の学びの場を提供するスクールの運営事業に注力し、既にメジャーアーティストを輩出しているという。タレントの新山千春さんが、現役アーティストとしても活躍する AGURA 社長にお話を伺った。



interviewer
新山 千春



代表取締役
AGURA



——はじめに、AGURA 社長の歩みから。

京都の出身です。神奈川の大学でデザインを学ぶ傍ら、和楽器を取り入れたヒップホップグループを結成し、在学中は音楽活動に傾倒しました。卒業後は京都に戻って音楽活動を継続しながら、家業である家具関連の仕事にも携わっていました。

——それから事業を立ち上げられたきっかけとは？

家業から離れて音楽活動に力を入れるようになり、2009年には新たな音楽グループを結成し、音楽事務所と4年契約を結びました。契約期間満了後は、2年ほどコンサルタント業務に従事していたんです。その後、仲の良いシンガーの方と一緒に事業を手掛けようという話になり、2017年に『NEST』を設立しました。教育と映像制作、飲食を事業柱に据えています。特に力を入れているのはアーティストの夢を応援するスクールの運営事業なんです。

——どんなスクールが詳しく伺っても？

表現や創作の道を志す人に向けて、「技術」・「仕事」・「現実」という3つの教育指針のもと、音楽を中心にアートやクリエイティブ、カルチャーなど多様な表現や創作の学びの場を提供するスクールです。当スクールと一般的な音楽専門学校

が大きく違うのは、単に歌や演奏の技術を教えるだけではないという点。私たちは敢えて音楽業界のありのままの現実を示し、その現実に向かうための術を伝え、実践の機会を提供することを第一義に掲げています。言うなれば、「1の成功より、99の失敗を教えることで、進むべき道を見つけるためのサポートをする」——このスタンスで日々生徒たちと向き合い、全力でバックアップしているところです。

——業界で生き残っていくための覚悟を固められると共に、そのノウハウを学ぶことができるというわけですね。それはとても貴重な経験だと思います。

そうですね。また、講師にはマニュアル通りの講義ではなく、業界の「今」を伝えることに重きを置いてもらっているので「生きた授業」になりますし、講師自身の成長にもつながると考えています。学ぶ人も、教える人も成長できるスクールを目指しています。

——人材は順調に育っていますか。

ええ。すでにメジャーアーティストを輩出しており、これから後に続く人たちもどんどん巣立ってってくれると思います。音楽業界の第一線で仕事をされている方とのつながりもありますが、その方々が板前だとすると、そこに「良い

素材」を送り込むことが私たちの使命。自分たちでアーティストを抱え込むことは決してせず、人と人、人と夢をつなぐ役割を担っていければと思っています。

——今後の展開が楽しみです。どんなビジョンを描いておられますか。

今後、名古屋や福岡、仙台、新潟といった主要都市に拠点を設けることを目標に据えています。そうすることで、その土地を訪れたアーティストを特別講師として招くこともできますし、それが講師にも生徒にもプラスになっていけばと思っています。

(2019年10月取材)



「受講生の方に現実を伝えるということは、目標とする世界がいかに厳しいかを教えるということ。AGURA 社長は『裏テーマは辞めさせること』と笑っておっしゃっていましたが、『厳しさを理解する人を育てる』ということなのでしょうね」新山 千春・談